

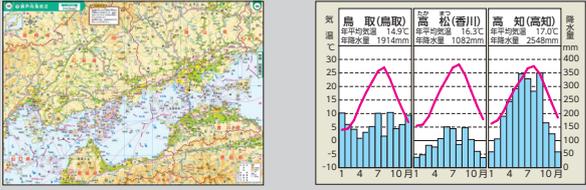
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.196-197 交通網を生かして発展する農業
2. 目標
 - (1) 瀬戸内や南四国で盛んな農業の特色を理解できる。
 - (2) 瀬戸内や南四国では、農産物の市場をどのようにして拡大させてきたか考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

| 評価との関連 | 指導のポイント |
|----------|--|
| 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内ではかんきつ類の栽培、南四国では野菜の促成栽培が盛んなことを理解している。 ・南四国で促成栽培が盛んな理由を説明している。 |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・輸入品や産地間の競争に対応するため、品種改良を重ねたり輸送方法を工夫したりして市場の拡大を図ってきたことを考察している。 |

4. 指導過程

| | 学習内容・学習活動 | 資料・発問 | 留意点(○)・指導のポイント(◆) |
|--|---|--|---|
| 導入 | <p>1. 「山の斜面に広がるみかん畑」の写真とみかんの生産量のグラフを題材にし、本時の課題をつかむ。</p> <p>2. みかんの生産地の共通点を予想し、学習課題への見通しを持つ。</p> |  <p>p.196 1</p>  <p>p.196 2</p> <p>みかんはどのような場所で栽培されているのだろうか。</p> <p>みかんの生産量が多い県の共通点を予想してみよう。</p> | <p>○ 「山の斜面に広がるみかん畑」の写真とみかんの生産量のグラフを題材にし、みかんがどのような場所で生産されているか気付かせながら、本時への導入を図る。</p> <p>○ みかんの生産量が多い県の共通点を予想させる。</p> <p>○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。</p> |
| 学習課題：瀬戸内や南四国で生産される農産物は、どのようにして競争力を高め、市場を広げてきたのだろうか。 | | | |
| 展開 | <p>3. 瀬戸内では、さまざまな種類のかんきつ類が生産されていることを理解する。</p> <p>(1) さまざまなかんきつ類</p> <p>(2) 栽培が盛んな理由</p> |  <p>p.196 3</p> <p>知っているかんきつ類の種類を挙げてみよう。</p>  <p>地図帳 p.93-94</p> <p>p.191 8</p> <p>瀬戸内で生産が盛んなかんきつ類を、地図帳で調べてみよう。</p> <p>瀬戸内でかんきつ類の栽培が盛んな理由を考えてみよう。</p> | <p>○ 知っているかんきつ類の種類を挙げさせる。</p> <p>○ 瀬戸内の主なかんきつ類の産地を地図帳で調べさせる。</p> <p>◆ 瀬戸内では、みかんや伊予かん、はっさく、あまなつ、レモンなど、さまざまなかんきつ類が生産されていることに気付かせる。</p> <p>○ 瀬戸内でかんきつ類の栽培が盛んな理由を考えさせる。</p> <p>◆ 瀬戸内は、温暖で降水量が少ないことに気付かせる。</p> |

4. 愛媛県では、品種改良などにより競争力を高める取り組みを行っていることを理解する。



p.196 4

愛媛県では、どのような工夫をしているのだろうか。

なぜ、さまざまな種類のかんきつ類を栽培するようになったのだろうか。



地図帳 p.96 ⑩

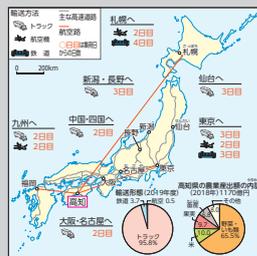
南四国では、どのような農業が行われているのだろうか。



p.197 7

p.197 8

なぜ、高知県では促成栽培を行っているのだろうか。



p.197 6

| 輸送手段 | おもな出荷先 | 特色 |
|------|--------------|------------------------|
| トラック | 全国 | (例) 道路があれば全国どこでも輸送できる。 |
| 鉄道 | (例) 東京 仙台 札幌 | (例) 一度に多くの野菜を輸送できる。 |
| 航空 | (例) 東京 | (例) 鮮度を保って出荷できる。 |

高知県の野菜の出荷先や輸送手段の特色をまとめてみよう。

6. 交通網の発達を生かして市場の拡大を図っていることを理解する。

○ 愛媛県のかんきつ類の栽培の特色を考えさせる。

◆ 収穫時期の異なるかんきつ類を栽培し、一年を通して生産できるように工夫していることに気付かせる。

◆ 1990年代のオレンジの輸入自由化をきっかけに、みかんの出荷量が減少したため、味や収穫時期の異なる品種を開発する工夫をしていることを理解させる。

○ 地図帳を活用し、南四国で生産が盛んな農産物を調べさせる。

◆ なすやししとう、きゅうり、ピーマン、にら、ピーマン、しょうがなどの栽培が行われていることに気付かせる。

○ 南四国では、なぜ、促成栽培を行っているのか説明させる。

◆ ビニールハウスによる促成栽培によって、価格の高い冬の時期に出荷できることを理解させる。

○ 学習プリントを活用し、高知県の野菜の出荷先や輸送手段の特色を考えさせる。

◆ さまざまな輸送手段が利用されていることを理解させる。

◆ 高速道路網が発達したため、保冷トラックによる全国的な輸送が可能になったことに気付かせる。

7. 本時のまとめをする。

南四国ではなぜ促成栽培を行っているのか、図8や本文を参考に説明しよう。

8. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

◆ 南四国で促成栽培を行っている理由について、温暖な気候と出荷時期、価格の関係から説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。